



子どもたちの持っている 可能性を広げたい

Montessori Play & Learn
園長先生
ジェーンさん

「マレットファンの周りの輝く人」。最初の輝く人、ジェーンさんを訪ねて、遊び場がいつかの幼稚園へ行ってきました。



 朝9時。小さな子どもたちがパパやママに手を引かれてやってきました。「サウディーカー!」。笑顔で迎えるのは園長先生のジェーンさん。住宅街にある自宅を開放して、自由に遊びながら学ぶ幼稚園「Montessori Play & Learn」を運営しています。

昔ながらのタイの家で、自由に遊んで学ぶ幼稚園

落ち着いた古木のタイ伝統家屋。「20年前に父が建てたのですがずっと使っていない。ここで幼稚園を始めてもいいですかと父に聞いてみたら、どうぞやりなさいと」。その木造家屋の2階には天井の高いひろびろした部屋が3つ。時を経た木の床はつやつやです。ゴロゴロしたいなあと思っているジェーンさん、「ぜひ!ここは自由に遊ぶところですから」。

ジェーンさんの幼稚園が取り入れているのはモンテッソーリ教育法。身近な素材を使って遊びながら五感を刺激し、体験を通して学ぶ教育法です。部屋の壁ぎわには子どもの背丈に合わせた低い棚が配置されていて、おまごどサイズの籐カゴが等間隔で並んでいます。カゴの中は、ビー玉をお皿に移すセットやスプーンで豆をすくうセット、瓶から瓶に液体を移すセット、容器とキャップを合わせるセットなど。子どもたちは興味ある道具のセットを自分で選び、床にマットを敷き、その上で遊びます。

先生が教えるのは、子どもが初めて選んだ道具の使い方だけ。あとは見守ることに徹します。遊ぶうちにぐちゃぐちゃになっても、こぼれちゃっても、子どもが自力でお片づけするように導くのみ。それでめちゃくちゃに拭いてしまっても、逆に飛び散ってしまっても、大人はじっと我慢。子どもが自



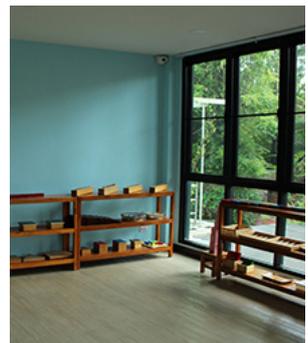
木造家屋の2階にある部屋。子どもの背丈に合わせた低い棚に道具のセットが並ぶ



遊び道具は生活の中にある素材。口に入るものはなるべく本物を使う



高床式になっている木造家屋の1階は、風が抜ける気持ちのいい空間



最近、もう一棟を新設。明るい壁と光がたくさん入ってくる部屋に低い棚を設置